

会議名		第3回 内灘町外部評価委員会
日時		平成27年11月5日(木) 13:30~17:20
場所		4階 404・405会議室
出席者	委員	木村高宏 委員長、小林清 委員、松川祐子 委員、濱田陽子 委員、森眞一郎 委員
	事務局(財政課)	向貴代治 総務部長、長谷川徹 課長、北正樹 課長補佐、櫻井彰 主事
<b>審 議 内 容</b>		
事務局		13:30 会議開始 冒頭あいさつ 進行について説明
総務課		議事開始 <b>1. 外部評価(3事業)</b> <b>○防災対策事業について</b> (説明員: 向貴代治 総務部長、棚田進 総務課長、橋本良 課長補佐、宮本義治 課長補佐) 評価シートについて概要説明及び2次評価についての説明
委員		<b>【質疑応答】</b> 防災士人数79人、メール登録件数1,000件を目標値とした根拠を教えてください。
総務課		石川県からは、各町会に自主防災組織を作り、防災士を1人は配置して欲しいとの要望がある。本町では各町会5人の枠を作り、防災士を養成している。 メール登録件数の目標値を1,000件とした根拠は特にない。
委員		防災士の資格をとられた方の役割分担は明確に決まっているのか。
総務課		地域の防災訓練でリーダーになっている。
委員		訓練ではそうかもしれないが、実際に災害が起きた場合に、防災士が率先して行動するといった明確な役割分担はできているのか。
総務課		自主防災組織の中で、防災士の資格をもった方々がリーダーとなり、各種災害時に救急対策などができるように、防災士養成の講習会を年2回受講していただき、リーダーとしての役割を学んでいただいている。
委員		防災士は見た目で誰かわかるのか。
総務課		ベストや帽子など見た目で防災士とわかるものを支給している。
委員		どのような災害の時に活動してもらうのか。
総務課		防災士はそれぞれの地域で活躍していただくもので、町が指示するものではない。 町内全域で地震・津波などの災害が発生した場合には、町が災害対策本部を設置す

	<p>るが、災害が広範囲な場合に町で全てを対応することが困難であるため、防災士に地域で活動していただくことを想定している。</p>
<p>委員 総務課</p>	<p>活動の事例はあるのか。 幸いにも事例はないが、年に一度、校下別の防災訓練に参加していただいている。また、各地域でも防災訓練を実施しており、救急など防災士の知識を活かした取り組みを行っている。</p>
<p>委員 総務課</p>	<p>防災メールについて、向粟崎地区では、区民のメール登録制度があり、登録している方にお知らせなどが届く。向粟崎区のメール登録がある方に、町の防災メールが届くといった連携はあるのか。 連携はない。ただ、防災行政無線のデジタル化に伴い、個別受信機を町会長・区長宅、公民館などに配備しており、そこから情報を得ることは可能である。</p>
<p>委員 総務課</p>	<p>個別受信機が防災士宅にないのは何故か。 自主防災組織の会長である町会長・区長宅に配備している。予算の関係もあり、防災士には配備していない。</p>
<p>委員 総務課</p>	<p>防災士宅に配備した方がよいのではないか。現在は、各町会長・区長から防災士に連絡する体制となっているようだが、緊急時にピラミッド型の連絡体制は阪神淡路大震災でうまくいかないことが明らかになっている。改善が必要なのでは。 個別受信機の内容は各地域の防災行政無線と同じである。難聴地域を解消しており、防災行政無線を優先していただきたい。また、防災士には、緊急メールを見ていただくよう広めていけば、今後、個別受信機は配備しなくてすむのではないかと考えている。</p>
<p>委員 総務課</p>	<p>積極的に行わない理由はあるのか。 費用がかかる。</p>
<p>委員 総務課</p>	<p>金額はいくらか。 1基あたり約5万円。</p>
<p>委員 総務課</p>	<p>防災士は延べで74人。80人としても4,000,000円である。予算の中ではそれほど大きなものではないかと思うが、導入しないというのは優先順位的に低いのか。 メインは防災行政無線であり、個別受信機は補完的なものである。優先度というものではない。</p>
<p>委員</p>	<p>私が防災士だとすれば、何故ないのか不思議に思う。町会長（区長）がいつも家にいるわけではない。一次情報が聞けなかった時に、防災士が町会長の指示を待つのか。訓練でうまくいっていても、災害時にうまくいかかわからない。改善が必要ではないか。</p>
<p>委員 総務課</p>	<p>防災士はどういう方がどういう決定でなるのか。 町会（区会）に推薦をお願いしている。</p>
<p>委員</p>	<p>公募はしないのか。</p>

総務課 委員	地区の構成であり、町が公募するのではなく、地区にお願いしている。 地区と関わりを持ってない方をどのように拾い上げていくのか。ホームページ、広報等で公募すればよいのでは。町がお金を出し、地区にお願いしている以上、本当の自主ではないのではないかと。地区に丸投げするのは危険だと思う。
総務課	本町が他市町と違う大きな点は、1町会1公民館のコミュニティ施設を設けて、町会・公民館単位でいろいろな活動をしてきた経緯があるということ。行政が地区に丸投げするものではなく、これまでも地区を通してコミュニティづくりをし、1町会1公民館を有効に活用させていただいてきた。防災士についても、地域のリーダーとなっただけの方をその地域で選んでいただくという取り組みを行っている。ただ、町外から転入された方が、内灘町民でありながら、金沢市の消防団員で活躍されている方もいる。内灘町民が必ず内灘町だけで活動するものでないが、今は、地域で推薦いただいた方に防災士となっただけ、そこから広げていくという考えで進めている。
委員	その考えはよくわかるし、否定するものではなく大切なことである。 ただ、防災というものは、理念とは違った部分で、こぼれる落ちる人をどうやって拾い上げていくのかを常に考えておくことが大切である。町会・公民館メインでやってきて、それで良いという発想だけではなく、例えば、地域と関わりにくい学生を大きなネットにどのようにかけるかという発想が必要。
委員	防災士の年齢別の資料はあるのか。
総務課	年齢別にまとめた資料はない。
委員	防災士の名簿は。
総務課	ある。
委員	名簿をみせて欲しい。
総務課	用意する。
委員	老人ホームに防災士はいるのか。例えば夕陽ヶ丘苑等。
総務課	把握していない。
委員	万が一の時にいた方がいいのか。
総務課	それぞれの施設で災害時の対応マニュアルがある。今年、石川県との防災訓練があったが、夕陽ヶ丘苑は訓練対象施設となっており、一緒に災害訓練を行った。
委員	防災士がいなくても問題はなかったということか。
総務課	いた方がいいと思うが、町で強制できるものではない
委員	防災士は国家資格か。
総務課	確認する。
委員	受験内容は。
総務課	救急救命講習を受講し、ペーパーテストを受ける。
委員	合格率は。
総務課	80%ほど。

委員 総務課	報酬は。 ない。受験料を町で助成している。防災士試験の受験料は3,000円/人で、育成講座の負担金で41,000円/人である。 (防災士の名簿を配布する。)
委員	防災士の名簿を見たが、働いている方の年齢が多く、防災士が平日にいないのではないか。勤務先が町内か町外かを把握しなければいけないのではないか。把握状況は。
総務課	把握していない。災害はいつ起こるかわからないので、考えていく必要がある。
委員	年に1回でも、全員を対象とする研修を実施しているのか。
総務課	人数は把握していないが、消防本部で実施している。
委員	内灘町の地震計の設置場所は。
総務課	役場庁舎と道路の間に1箇所設置している。
委員	防災計画は町民に配布してあるのか。
総務課	防災行政マップは配布してある。また、防災計画をもとにした訓練を毎年地区で行っている。
委員	平成26年度決算では、防災施設管理等で約3,800,000円とあるが、具体的にどのような施設を管理しているのか。
総務課	内訳は石川県と町との防災行政無線の保守管理負担金200,000円、県の防災ヘリコプター運行連絡協議会負担金570,000円、総合防災情報システム管理運営負担金310,000円、防災機器保守点検委託料460,000円、貯水槽の管理委託350,000円、その他、高熱水費、消耗品、修繕費用等で約2,000,000円となっている。
委員	評価のチェック欄に「実施主体は町である。但し、一部民間委託により人件費を抑制することは可能であると思われる」とあるが、他にも一部民間委託できるものがあるのか。
総務課	専門的な分野に関するものを外部委託すれば、人件費を抑制できるのではと考えている。
委員	評価シートに記載されている平成26年度決算内訳のコミュニティ助成事業400,000円の中身は何か。
総務課	投光器2台の購入費である。
委員	備蓄食糧は毎年購入しているのか。
総務課	賞味期限があるため、毎年購入している。
委員	非常食の賞味期限は何年か。
総務課	例えばアルファ米は5年。
委員	地区では別の物を備蓄しているのか。
総務課	把握していないが、あるかもしれない。
委員	町と地区でどれくらいの備蓄があれば大丈夫か試算しているか。

総務課	試算はしていない。防災協定によりマックスバリュや生協などからも提供してもらえることとなっている。
委員	備蓄食料のことだけでなく、先ほどの防災士の件も含めて、もっと地域と町で連携を図るべきだ。
委員	平成26年度に太陽光発電システムを購入しているが、これは天気の悪い日や冬場、夜間でも活用できるのか。
総務課	このシステムは太陽光でバッテリーを充電させ、電源として利用するものである。太陽光がなければ基本的には充電されないが、災害時に電源を確保する方法の一つとして考えている。
委員	常に充電された状態で保管しているのか。
総務課	現在充電はしていない。今後は充電状態を保っていききたい。
委員	そもそも太陽光発電システムは発電効率が悪いのでは。ガスやガソリンによるものではなく太陽光発電にしたのはなぜか。
総務課	ガスで発電する機械も民間企業等からの寄付により所有している。
委員	それらを補う意味で太陽光発電システムを購入したのか。
総務課	はい。
委員	防災資機材整備補助金について制度や要綱があるのか。
総務課	ある。
委員	購入金額に対する割合などはどのように決まっているのか。
総務課	防災資機材の整備に要する費用の50%以内、単年度10万円を限度としている。
委員	各地区が購入している資機材の内容は。
総務課	ヘルメットや発電機、毛布、組立式のテントなど。
委員	平成28年度末までに町内の避難所等に避難誘導灯を設置する予定とのことだが、これは防災資機材の整備補助とは異なるのか。
総務課	この避難誘導灯の設置は町会が行うものではなく、町が行うものである。
委員	災害時の飲料水の確保についてはどうか。賞味期限の問題があると思うが。
総務課	役場庁舎に100t、総合公園に100t、向陽台の公園に70tの貯水槽がある。この貯水槽は水道管の一部となっており、普段は常に水が出入りしている状態。災害時には水の出入口が遮断され、貯水槽として供給できる仕組みとなっている。
委員	評価シートに訓練の参加人数を指標にしていないのはなぜか。
総務課	例年、校下別に訓練を行っており、町から各地区に何人出してほしいという依頼をしている状況。人数を目標にするという意識はあまりない。
委員長	他に無いようなので、防災対策事業については以上とする。
子育て支援課	<p><b>○学童保育事業について</b></p> <p>(説明員：大徳茂 町民福祉部長、上島恵美 子育て支援課長、中川裕一 課長補佐)</p> <p>評価シートについて概要説明及び2次評価についての説明</p>

	<b>【質疑応答】</b>
委員	学童保育クラブについて、学校空き教室への移設を考えているとのことだが、現在の学校空き教室数の状況は。例えば大根布小学校はどうか。
子育て支援課	現在、大根布小学校に空き教室はないが、白帆台地区に小学校ができれば空きができると考えている。
委員	何割ほど空く見込みか。
子育て支援課	半分ほどは空くことになる。
委員	それはいつからか。
子育て支援課	平成30年度からの予定。
委員	宮坂学童は一時保育の人数が多い。白帆台地区の小学校ができるまで、増えていったらどうなるか想定しているのか。
子育て支援課	おっしゃるとおり宮坂学童は人数が多い。以前は宮坂保育所時代の部屋だけを使っていたが、現在はホールも学童保育の部屋として使うようにしている。その他、隣接する勤労者体育センターも活用している。
委員	そもそも学童保育ではどのようなことをしているのか。
子育て支援課	平日の下校時から預かっており、まずは学校の宿題をする時間を設けている。その後は絵本を読んだり、外で遊んだり自由な時間を過ごしてもらっている。夏休み期間は保育の時間も長くなるので団体で遊んだり工作をしたりしている。
委員	宿題ができるような設備を整えているということか。
子育て支援課	人数分の机・椅子を用意してある。
委員	外で遊ぶ子も多いのか。
子育て支援課	多い。外といっても隣接する公園内に留めている。
委員	一時保育の料金設定は。
子育て支援課	1時間あたり200円。
委員	1日だけ預けるという人もいるのか。
子育て支援課	夏休みであれば1日という方も多く、平日であれば1時間や2時間という方もいる。
委員	例えば母親が2人の子どもを家で見ていて、小学校に通っている上の子だけを学童に預けることもできるのか。
子育て支援課	就労しているなど保育できる人がいないことが条件であるため、通常の学童保育としては利用できないが、一時保育に限っては利用できる。
委員	保育できる人がいないという条件は、家にいる祖父母も含めてか。
子育て支援課	祖父母も含めてだが、65歳以上の方は含まれない。
委員	保育所の保育料は親の所得等で決まると思うが、学童保育に対してそのような基準はあるのか。
子育て支援課	そのような基準はなく一律月額7,000円としている。
委員	兄弟で預けたくても、上の子が高学年で預けられない場合もあるのか。

子育て支援課 委員	今年度から学童保育の対象を6年生までに拡充している。 「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」の第5条に学童保育利用の条件として労働等との記載があるが、労働の他に何が含まれるのか。
子育て支援課 委員	就労の他、親の介護や自身の病気も含まれる。 個別にケースを見て判断することになるのか。
子育て支援課 委員	はい。 第3条第2項に「放課後児童健全育成事業者に対し、町長は最低基準を常に向上させるよう努めるものとする。」と書かれているが、実際にそのように努めているか確認したい。また、第4条には「最低基準を超えて、設備及び運営を向上させなければならない」とあるが、具体的に向上させているのか聞きたい。
子育て支援課 委員	この条例は私立による運営も想定してこのような書き方になっている。現在は町営のみだが条例の内容に沿って運営している。 町長は最低基準を向上させるため、どのような取組を行っているのか。
子育て支援課 委員	職員を各種研修に参加させている他、衛生面においても掃除を徹底し、適正な保育環境の確保に努めている。 現状はしっかりしているのかもしれないが、最低基準を今後向上させていくためにしていることは。
子育て支援課 委員	今年度から「子ども・子育て新支援制度法」が本格施行され、学童保育職員の資質向上のための専門的な研修の受講が必要となった。今後、研修の受講を持って資格を与えるという資格制度に移行するというところで、5ヶ年で学童保育に係る全職員を参加させることとしている。 評価シートの「実施主体の適正化」のところで、「当面、学童保育を担う団体や組織はできそうにない。」と記載してあるが、できそうにないという理由は。
子育て支援課 委員	公募してほしいという話や実施したいという話が現在のところなく、内灘町社会福祉協議会においても学童保育の運営は困難と思われることからそのような記載となった。 平成26年度決算額のうち、その他特定財源24,905,944円の内訳を教えてください。
子育て支援課 委員	内訳は保育料が23,916,320円、向粟崎公民館・西荒屋公民館からの電気代等の負担金が598,024円、一時保育料が391,600円である。 条例第5条第4項に学童保育の運営内容について評価を行い、結果を公表するように努める規定があるが、どのように公表しているのか。
子育て支援課 委員長	施行されたばかりの条例であり、評価の公表は現時点でできていない。今後適切に進めていきたい。 他に無いようなので、学童保育事業については以上とする。

生涯学習課	<p><b>○砂丘フェスティバル実行委員会補助金について</b>  (説明員：北川真由美 教育部長、上出功 生涯学習課長、神農孝夫 課長補佐)  評価シートについて概要説明及び2次評価についての説明</p>
委員	<p><b>【質疑応答】</b>  評価シートの平成26年度決算額の内訳で、町からの補助金が657,068円とあるが、実行委員会の会計報告の資料では1,000,000円の収入があったと記載されている。差額について教えてほしい。</p>
生涯学習課	<p>差額は、最終的に町に返納された額である。</p>
委員	<p>平成26年度の補助金が例年に比べて少なくなった理由は。</p>
生涯学習課	<p>出演者が体調不良になったため、出演料が減額になった他、その年の出演者によって出演料が異なるためということが考えられる。</p>
委員	<p>補助金は全て出演料に充てられているのか。</p>
生涯学習課	<p>出演料だけでなく各種委託料も含まれている。</p>
委員	<p>補助金を出すときは実行委員会から町に対して申請書をもらっているのか。</p>
生涯学習課	<p>はい。</p>
委員	<p>補助申請額の査定はどのように行っているのか。予算書などをもらっているのか。</p>
生涯学習課	<p>予算書はもらっていない。町からの補助金100万円と入場協力金を基本とし、実行委員会・事務局・ボランティア団体で企画やゲストを決めている状況。</p>
委員	<p>前売り券が800枚以上売れているのに来場者数は600人となっている。前売り券を買っておきながら当日に来ないという状況は、対策を考えなければいけないのでは。</p>
生涯学習課	<p>内容や出演者によって来場者数は変動する。今後しっかりと検討していきたい。</p>
委員	<p>来場者数で評価をするのは難しい。来場者アンケートで、内灘町のイメージなどを聞いて検討資料にした方がよいのでは。</p>
委員	<p>補助金が毎年返納されている状況は補助金の性質としてどうか。精査が必要では。</p>
生涯学習課	<p>平成26年度は出演者の体調不良に伴う出演料の一部返納もあり返納額が大きくなっている。補助金額については平成24年度までは150万円で、平成25年度以降は100万円に減額している。改善計画にもあるが、町の補助金だけでなく、一般財団の助成金等を活用しようとしている。</p>
委員	<p>一般財団の助成金等を活用し、事業が成り立つのであれば、町から補助金を出さなくてもよくなるのか。</p>
生涯学習課	<p>町からの補助金をなくするのではなく、より大きな事業を実施することができるようになると考えている。</p>
委員	<p>事業を大きくして、集客を高めることが事業の理念と合うのか。</p>
生涯学習課	<p>理念もクリアし、より多くの人に来ていただきたいとの思い。</p>
委員	<p>理念の2番目に子どもたちのことが書かれている。例年の出演者で子どもたちが来</p>

<p>生涯学習課</p>	<p>たいと思うと考えているのか。</p>
<p>委員</p>	<p>内灘中学校の演劇部を呼んだり、吹奏楽部にアンサンブル金沢と共演してもらったり、中学生を中心に実施してきた歴史がある。昨年は、小学生から80代のお婆ちゃんまで、総勢50人程の方々が日本の民謡（内灘の愛唱歌）を歌った。ご家族にも大勢来ていただき、小学生にも自分達の町に愛着をもつという事業になったのではないと思う。アンケートにも、多くの方が来て良かったという回答があった。満足度が高いことと、誇りと愛着が醸成されることとは別だと思う。この企画により、何故、内灘の誇りと愛着が醸成されるのですかと聞かれたときに、どういうふうに答えるのか。金沢市で泉鏡花や室生犀星の話があるなら、出身者なので愛着につながることは理解できる。内灘闘争は有名だからわかるが、他の企画では伝わってこない。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>泉鏡花に関しては、金沢出身かもしれないが、河北潟など内灘に関する物を書いており、関連性があるということで題材にしている。五木寛之さんも内灘を題材にして本を出されており、そういうものから題材にしていることもある。</p>
<p>委員</p>	<p>愛着を醸成する構造にはなっているという考えか。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>はい。</p>
<p>委員</p>	<p>フェスティバルは、文化会館大ホールにゲストを呼ぶという形態がずっと続いているように思う。開催規模の検証はしないのか。たくさんの方が入ったからいいというわけではなく、小さい規模でも高い評価となる事業もあるのでは。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>当初は、フェスティバルだけだったが、事前勉強会も行っており、改善してきている部分もある。しかし、その年によって参加者が少ないこともあり、内容についても、実行委員会や事務局を含めて検討していく必要はある。</p>
<p>委員</p>	<p>事前勉強会の周知方法は。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>広報やチラシ等で行っている。</p>
<p>委員</p>	<p>町民主導でありつつ、町の事務局で原案を作成するという形態を取っていると思うが、町民主導であるならば、企画書をあげてもらって、それを精査し、アドバイスしてから補助金を出すのが通常のあり方では。補助金の額が減ったのは、行財政改革の成果だと思うが、お金をかけて、お客を呼びたいのであれば、余った補助金は返納させずに貯蓄すればよいのではないと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>他に無いようなので、砂丘フェスティバル実行委員会補助金については以上とする。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>2. 今後の予定について</b>  第4回 平成27年11月24日（火）13時30分～  ・外部評価の総まとめ</p>

事務局	<p><b>3. その他</b></p> <p>(第2回での指摘事項である「町民夏まつり実行委員会補助金」の資料を配布)</p> <p>平成20年度～平成24年度にかけて、年々、花火の広告収入が減少してきたが、商工会青年部において、活動の強化に努めた結果、平成25年度からは、広告収入が増加となった。補助金等評価シートの裏面の事業の効率性欄では、『スポンサー収入が減少している』との記載になっていたため、『スポンサー収入が平成25年度から増加はしているが』に修正した。</p>
委員	<p>花火大会の収支報告書にある協賛募集費について、平成26年度が平成24年度、平成25年度より増加しているのはなぜか。</p>
事務局	<p>募集のための打ち合わせ会議によるもの。活動強化により広告収入の増につながった。</p>
委員長	<p>他に無いようなので、会議を終了する。</p>
	<p>17:20 会議終了</p>